こくみん共済 coop NEWS

New-Zetwork 2018-2021

2020年版
社会活動レポート
～SDGsのゴールに向けて～
2019年度のご報告

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

SDGsのゴールに向けて、
社会課題の取り組みをすすめていきます

日頃は、こくみん共済 coop の事業と運動の発展のためにご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まず、2019年度は、九州北部の大雨、台風15号をはじめとする台風が相次いで発生するなど、自然災害が多発した年度となりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大により日常生活等が制限され、現在でも社会全体に不安が広がっています。

大雨や台風により被災された皆さまならびに新型コロナウイルス感染症で影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当会では、被災された組合員とそのご家族の一刻も早い生活再建に向け、共済金のお支払いをすすめてきました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、協同組合の連携・連帯の観点から日本医療福祉生活協同組合連合会にマスクを寄贈しました。

今後も、組合員の皆さまへのお役立ちを形にするとともに、たすけあいのあふれる社会づくりに向けた取り組みを続けていきます。

さて、2019年度は、より多くの方々に親しんでいただき、愛される存在となるため、新しい姿を表す愛称を「こくみん共済 coop」と定め、「防災・減災活動」、「環境保全活動」、「子どもの健全育成活動」をすすめてまいりました。つきましては、当レポートをご一読いただけると幸いです。

当会は、創立以来、協力団体や組合員をはじめとする多くの仲間とともに、共済の普及と社会課題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめてきました。これは、誰一人取り残さない社会づくりをめざす、SDGsに通じるものです。

これからも、「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

2021年には東日本大震災から10年という節目の年を迎えます。取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、私たちの役割をあらためて認識し、活動をさらに強化してまいります。

引き続き、組合員・関係団体の皆さまのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2020年7月
こくみん共済 coop 代表理事 理事長
廣田 政巳

Report 1 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

**社会不安が広がるときだからこそ、
たすけあいの輪をむすびあう活動に取り組みました。**

1.日本医療福祉生協連へのマスクの寄贈

マスクの寄贈 10万枚

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により
医療・介護現場における衛生資材が
不足しているなか、同じ協同組合組織である
日本医療福祉生活協同組合連合会に
マスク10万枚を寄贈しました（2020年5月22日）。
これからも連帯・連携をすすめていきます。



左:日本医療福祉生協連 片山専務理事
右:こくみん共済 coop 廣田理事長



役職員によるメッセージ

2.#今できるたすけあい

人と人との接触が制限され、社会全体が大きな不安を抱えるなか、感染予防に向けた
お役立ちコンテンツや心のふれあいやつながりを大切にするメッセージを配信しました。
緊急事態宣言解除後も、取り組みを続けています。

特設サイトトップページ



心のふれあいやつながりを
大切にするメッセージ

今できるたすけあいコラム



もっているものを分け合う、両親が遺してくれた「みんなで生き延びる」ということ

初めまして、神戸と表参道の2拠点で美容師とヘアメイクをしている、八木香保里（やぎかおり）です。神戸で…

さまざまな立場の人からの
コラムを配信

お役立ちコンテンツ



手作りポップアップカードを
大切な人に送ってみよう



ピットくんをおりがみで
つくってみよう！

家にいても楽しめるコンテンツを提供

LINEスタンプ



感染拡大の防止につながる行動をLINEスタンプとして配信

Report 2

防災・減災活動

近年、台風や地震等による自然災害が増加するなか、
万一の災害に備える、災害時に身を守る、災害後に復旧・復興を
すすめるという視点で、自助・共助の促進に取り組みました。

1.被災地を支援する取り組み

自然災害で被災した地域では、
地域の団体・ボランティアの皆さまと一緒に復興支援活動に取り組みました。

まびフェス（岡山推進本部）



音楽や防災・減災のワークショップ等を実施（2019年6月30日）。

うきうき寄席（熊本推進本部）



「笑いで被災者の方々の和み、笑いを」を
テーマとしたイベントを開催（2019年11月17日）。

福岡県朝倉市仮設住宅引っ越しボランティア（福岡推進本部）

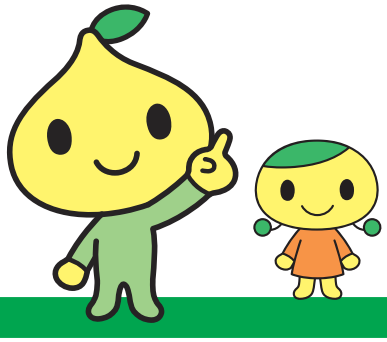


グリーンコープのボランティアに参画、
福岡県朝倉市の林田仮設住宅入居者の
引っ越しを支援（2019年7月27日、28日、8月10日）。

いのちのうた（熊本推進本部）



「音楽で、いのちの尊さを被災者の方々に
伝え少しでも元気を」をテーマとした
イベントを開催（2019年12月28日）。



45回開催

2.ぼうさいカフェの開催

ぼうさいカフェは内閣府が防災知識普及モデル事業として、
社会全体の防災力向上や国民の防災意識を高めるために推進している取り組みです。
地震や台風などの自然災害に対して、誰でもちょっとしたことで自分の身を守り、
被害を小さくすることができる防災・減災知識の普及を目指しています。

こくみん共済 coop HPコンテンツ



防災に関する情報発信

福岡推進本部



ぼうさいカフェの様子

中部統括本部



防災グッズの展示

福岡推進本部



「防災かるた」による防災・減災知識の普及

中部統括本部



防災備品の展示

「ぼうさいカフェ」の開催（2019年6月1日～2020年5月31日）

開催日	開催地	イベント名	開催日	開催地	イベント名	開催日	開催地	イベント名
6/2	福岡	福岡県総合防災訓練	10/6	宮城	第25回わいわい祭	11/17	岡山	玉野市和田自治会防災カフェ
6/18～22	東京	2019協同組合フェスタTOKYO	10/12・13	山口	地震保険加入・耐震補助制度ＰＲイベント	11/17	岡山	玉野市社会福祉協議会防災セミナー
6/21	福岡	自治労県職労大会	10/12・13	愛媛	「マツヤマお城下リレーマラソン 2019」防災コーナー設置	11/23	岡山	岡山労済創立60周年津山エリアイベント
6/21	岡山	玉野市和田自治会防災セミナー	10/14	徳島	とくしま生協35周年フェスティバル	11/28	徳島	ママと子どもの防災おはなし会
6/30	岡山	まびフェス	10/19	愛媛	「第38回生協まつり」防災コーナー設置	11/30	宮崎	宮崎市「消防・防災フェスタ2019」
7/21	愛知	おしごとチャレンジ	10/19	佐賀	「佐賀さいこうフェス2019」へのブース出展	12/9	岐阜	2019年度 協力団体代表者・担当者研修会
7/27・28	秋田	子育て応援団 すこやか秋田2019において防災啓発写真の展示	10/20	愛知	防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2019	12/22	福岡	ぼうさいカフェ2019in北九州
8/3	佐賀	「ぼうさいカフェ」in SUMCO 労働組合ユニオンフェスタ	10/25・26	東京	くらしフェスタ東京2019	1/23	青森	コープあおもり店舗キャンペーンにおける防災啓発イベント（類家店）
9/1	沖縄	ぼうさいカフェINなんじょう	10/26	岡山	岡山県労福協生活応援運動	1/24	青森	コープあおもり店舗キャンペーンにおける防災啓発イベント（和徳店）
9/1	山形	エフエム山形「備えよう！ みんなの防災プロジェクト」への出展	11/2	大分	秋の大運動会「ぼうさいカフェ」	1/27	青森	コープあおもり店舗キャンペーンにおける防災啓発イベント（松原店）
9/16	大分	健康・子育て応援「すこやか家族博覧会」2019	11/2	徳島	自然とふれあう健康ウォークin美波	2/1	岡山	玉野市山田地区防災カフェ
9/21	香川	「ファミリー防災フェスティバル2019」 こくみん共済 coop ブース設置	11/3	岡山	玉島健康まつり	2/8	石川	こくみん共済 coop 石川推進本部 60周年記念イベント「おもしろフェスタ」
9/28	岡山	コープフェスタ	11/10	岡山	三井生協祭り	2/12	岡山	玉野市地域包括支援センター防災セミナー
10/5	岡山	玉野市川田地区自治会防災セミナー	11/13	岡山	まちいろフェスタ	2/16	岡山	玉野市後閑地区防災カフェ
10/6	岩手	ぼうさいカフェ 牧野林店	11/16	徳島	JTEKTフェスティバル2019in徳島	2/29	岡山	防災セミナーと防災体験

Report 3

環境保全活動

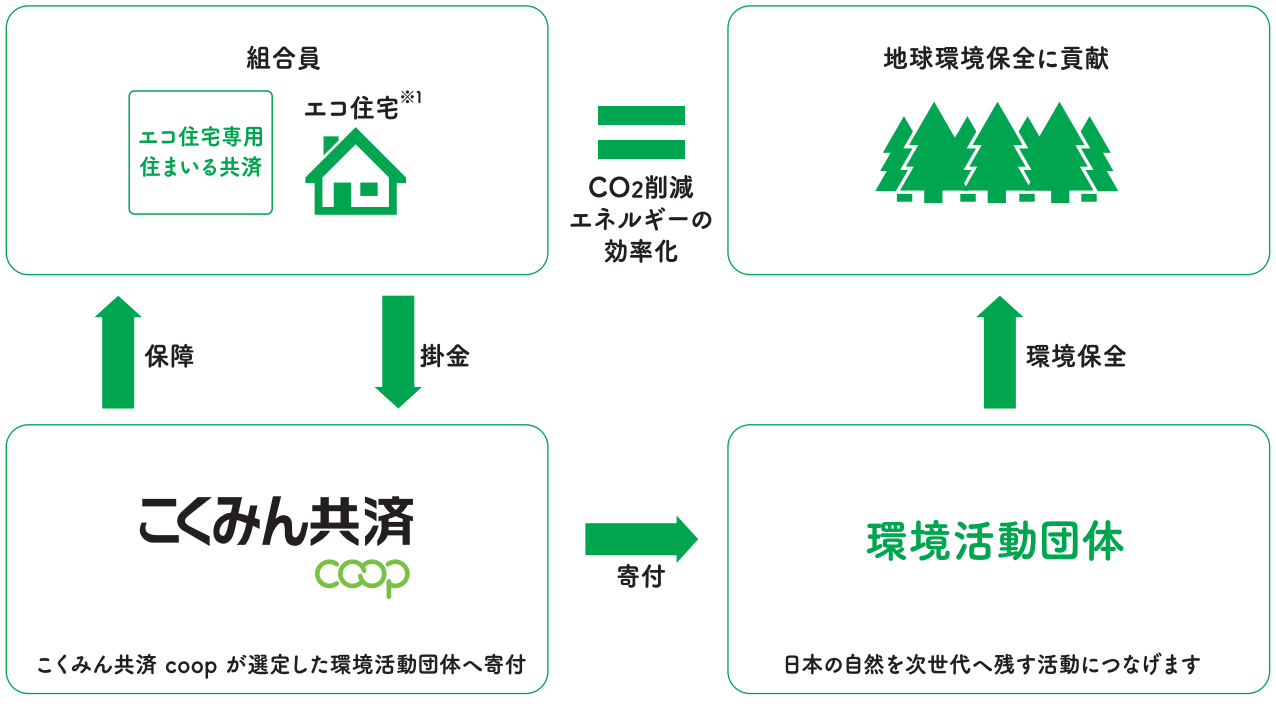
豊かな自然環境や生物を守るため、省エネルギー・緑化活動等に
積極的に取り組み、次世代に引き継いでいきます。

寄付総額 2,200万円

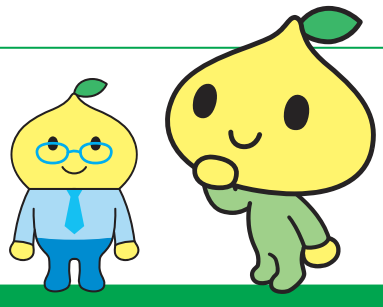
1.「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付

2008年より「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」の契約状況、決算実績に応じて、環境活動団体への寄付を実施しています。2019年度は「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」の加入契約82,428件（2019年5月末実績）にもとづき、3団体に総額2,200万円を寄付しました。

「社会貢献付 エコ住宅専用 住まいる共済」による寄付の仕組み



※1 エコ住宅とは「太陽光発電システム」等、地球環境にやさしい当会所定の設備を使用している住宅をいいます。

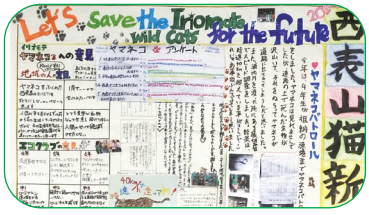


2.「サステナビリティボンド」の取得、「再生可能エネルギー・インフラファンド」への投資

資産運用方針にもとづき、ESG運用（環境・社会・企業統治に配慮している発行体を重視・選別して行う運用）を実施しています。2019年度は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行したサステナビリティボンド※3を取得しました。加えて、ブラックロックが運用する再生可能エネルギー・インフラファンド※4への投資を実施しました。

※3 本債券発行による調達資金は、「鉄道建設プロジェクト」と「船舶共有建造プロジェクト」のファイナンスおよびリファイナンスに充当されます。
※4 本ファンドは、風力発電および太陽光発電など再生可能エネルギー発電施設ならびに付随施設を運用対象とするインフラファンドです。

2019年度の寄付先・主な活動

公益社団法人 国土緑化推進機構	公益財団法人 日本自然保護協会	公益財団法人 日本環境協会
〈団体の主な活動〉 ・緑の募金 ・緑の少年団の育成 ・みどりの祭典 （全国植樹祭、全国育樹祭等） など	〈団体の主な活動〉 ・絶滅危惧種を守る活動 （イヌワシ、オオルリシジミ等） ・自然で地域を元気にする活動 ・自然の守り手を増やす活動 など	〈団体の主な活動〉 ・こどもエコクラブ （環境教育・活動支援） ・エコマーク事業 （環境配慮消費行動の促進） ・環境カウンセラー事業　など
〈共創による主な活動〉 ・緑の募金（東日本大震災復興事業、平成28年熊本地震復興事業）への寄付 ・「こくみん共済 coop の森・宮城」の海岸防災林の再生活動※2	〈共創による主な活動〉 ・「全国砂浜ムーブメント（海辺等の清掃活動と自然観察）」（2019年9月～12月開催）	〈共創による主な活動〉 ・こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール（環境活動の成果を取りまとめた壁新聞コンクール）」に特別協力団体として参画し「西表ヤマネコクラブ（沖縄県代表）」をこくみん共済 coop 賞として表彰。
 緑の少年団の活動	 全国砂浜ムーブメント	 こどもエコクラブ
 東日本大震災復興事業	 自然観察指導員全国大会	 こくみん共済 coop 賞 「西表ヤマネコクラブ」（沖縄県代表）

※2 2019年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました。

Report 4

子どもの健全育成活動

子どもの健康増進や子育て支援等をとおして、
将来を担う子どもたちの健全な成長を支えました。

横断旗の寄贈 85,341本

1.「7才の交通安全プロジェクト」

3 すべての人に健康と福祉を

小学生になり行動範囲が広がる7才は、交通事故に
もっとも遭いやすい年齢でもあることから、
子どもたちを交通事故から守る取り組みをすすめています。

【2019年度の取り組み】

◆マイカー共済見積もり1件につき1本の横断旗を全国の児童館などに寄贈
（2019年度は85,341本、これまでに延べ194,181本を寄贈）
◆子どものための交通安全デジタル絵本を公開
◆金沢大学と子どもの交通安全に関する共同研究を開始



横断旗寄贈イベントの様子



横断旗

なわとび・長なわの寄贈 20,356本

2.「子どもの成長応援プロジェクト」

3 すべての人に健康と福祉を

子どもたちの体力の二極化、体力低下に着目し、
子どもたちのすこやかな成長とたすけあいの気持ちを
未来につなぐための取り組みを開始しました。

【2019年度の取り組み】

◆資料請求1件につき、1本のなわとび・長なわを
全国の児童館などに寄贈（全国で20,356本）
◆子どもの成長応援コラムで子育てに役立つ情報を発信
◆子育て中のパパ・ママを、専門家がサポート（こくみん共済 こども相談室※）

※「こくみん共済 こども保障タイプ」にご加入いただいた方のみ、ご利用いただけます。



なわとび・長なわ寄贈イベントの様子



一般財団法人児童健全育成推進財団への
寄贈の様子

合計48回 参加者11,476名

3.「文化フェスティバル」を開催

「子どもから大人まで、それぞれの世代で楽しんでいただける」を
キーワードに1992年から舞台公演を行っています。

【2019年度の取り組み】

◆東京（2019年7月20日～8月12日）・鹿児島（2020年2月2日）の2カ所で開催（合計48回、11,476名の参加）
※新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年3月～4月の公演は中止になりました。


青い鳥（開催地：東京都）


紙芝居（開催地：東京都）



音楽の絵本（開催地：鹿児島県）

参加者79名

4.「1日お母さん大学」を開校

お母さんが地域の方々と気軽に集い、ともに学び、つながりあう場として、
お母さん大学と連携して2016年より開校しています。

「お母さん大学」とは？	㈱お母さん業界新聞社が企画・運営する「お母さんの心」を学ぶ大学（学びの場）。2008年春に開校。 お母さん大学の対象は、お母さんのみならず子育てを応援する人を含む老若男女の共学（響学）。 キャンパスは家庭で、先生は子ども、『お母さん業界新聞』をテキストとしている。

【2019年度の取り組み】

◆鹿児島（2019年7月24日）・香川（2020年1月29日）で開催（合計79名の参加）
◆子育て講演会「お母さんはスゴイ！」、食育講座「みそまるワークショップ」、
おにぎりとみそまるを食べながらの「ランチ交流会」を実施

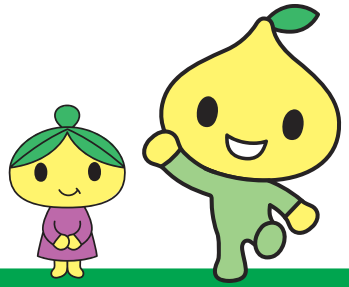
参加者の感想

・いつもひとりで育児している。こうゆう交流会に来れてよかった（お母さんの感想）
・みそは、普段食べているしと思っていたが、知らないことが多くて目からウロコだった（お母さんの感想）
・米みそが美味しかった。みそのこと、いっぱいわかってよかった（子どもの感想）
・住む地域でみそが違うことを知った。みそが好きになった（子どもの感想）


鹿児島推進本部での様子



香川推進本部での様子



Report 5

各地での取り組み

各地で組合員・協力団体・地域の組織の皆さまとともに
さまざまな取り組みを展開しました。

1.防災・減災活動

秋田推進本部



子育て応援団「すこやか秋田」

新潟推進本部



防災食づくり教室

大阪推進本部



防災体験イベント「REAL BOSAI」

山口推進本部



岩国市防災学習館見学

福岡推進本部



ぼうさいカフェin北九州
（北九州市防災フェスタとの共催）

大分推進本部



健康・子育て応援「すこやか家族博覧会」

青森推進本部

コープあおもり店舗における防災啓発活動

中部統括本部

内閣府主催「ぼうさいこくたい」への出展

和歌山推進本部

労働者福祉まつり「ぼうさいえほん」の
読み聞かせ

兵庫推進本部

ひょうご安全の日のつどい

徳島推進本部

ママと子どもの防災おはなし会

熊本推進本部

KABフォーラム2020
（地方創生と震災からの復興）

2.環境保全活動

新潟推進本部



清掃活動

栃木推進本部



収集ボランティア「ReBook」
（施設へ古本を寄贈）

群馬推進本部



労福協石垣島保護ボランティア

大分推進本部

街中ゴミ拾いボランティア
（総合生協グループとの合同実施）

3.子どもの健全育成活動

青森推進本部



絵本の読み聞かせ会
（子育て支援事業「BOOK ROOM紬」との共催）

関東統括本部、長野・静岡推進本部



第47回小学生作品コンクール
（茨城での様子）

石川推進本部



おはなし会

愛知推進本部



東邦ガス ガスエネルギー館による
おしごとチャレンジ＆きらき☆らんどへの出展

奈良推進本部



こくみん共済カップ第6回奈良県U-9サッカー大会
（奈良県サッカー協会主催のサッカー大会の後援）

山口推進本部



親子交通安全教室

宮城推進本部

交通安全教室
（宮城県警との共催による保育園での実施）

埼玉推進本部

マイカー共済新規加入件数に応じた
寄付の実施

沖縄推進本部

働く仲間のゆめ・みらい基金
（子どもや親の貧困への支援）

4.地域に密着したさまざまな活動

秋田推進本部



秋田竿燈まつり2019
（地域振興のイベント）

福島推進本部



外国語で遊ぼう
（親子で外国語を学べるイベント）

神奈川推進本部



フードバンクかながわへのフードドライブ活動

中部統括本部



アビタン（名古屋市）での献血

山口推進本部



マツダ工場見学と共済セミナー
（防府地区にお住いの皆さまの親睦・交流を深めるイベント）

佐賀推進本部



世界遺産みえつ・味の素・佐賀テレビ体験バスツアー
（地域にお住いの皆さまの親睦・交流を深めるイベント）

青森推進本部

ねぶた祭り（地域振興のイベント）

広島推進本部

ろうきん森の学校フェスティバル

福岡推進本部

2019福岡県民さわやかマラソン

Report 6

たすけあいの輪をむすぶさまざまな取り組み

「たすけあい」があふれる社会となることを願い、
たすけあいの輪をむすぶさまざまな活動に取り組みました。

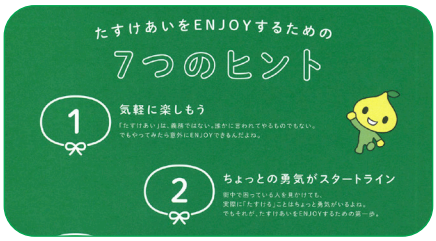
1.#ENJOY たすけあい

「ENJOY たすけあい」とは、こくみん共済 coop が、
「たすけあい」をもっと気軽で楽しいものにできたなら、
よりあたたかい社会になるのではないか、
そんな思いで立ち上げたプロジェクトです。



【2019年度の取り組み】

① たすけあいをENJOYするための7つのヒント



1 気軽に楽しもう
2 ちょっとの勇気がスタートライン
3 アンテナを立てよう
4 たすけた方がうれしい
5 「たすけてください」はプレゼント
6 憶えておいた方がいい知識もある
7 うまくいかなくても、自分を褒めよう

② たすけあいに関するコラム



コラムの紹介

誰かの「得意」は、
誰かを「たすける」ためにある



この差し出した手を、握ってくれるように
なったのはいつ頃かなぁ……



③ 「たすけられた経験」を広く公募



応募総数2,387件

「#たすけてくれてありがとう」をテーマに、
「たすけられた経験」をnoteで募集。
受賞6作品を公開。

④ たすけあいに関する意識調査

たすけあいの実態を把握し、今後の取り組みにつなげるため、「たすけあいに関する意識調査」を実施

＜第1回調査（2020年1月実施）＞
・日本人の77.2％が「たすけあいがあふれる社会」を望むも、「社会がたすけあいにあふれている」と回答した人はわずか2.9％。
・この結果は、「困っている人に出会っていない（気づいていない）」や「助けを求めることが苦手」とする回答が多かったことを背景にしていると思われます。

＜結果詳細＞https://www.zenrosai.coop/library/news_pdf/news-communication_509.pdf

2.「ICMIF 5-5-5 マイクロ保険開発戦略」への支援

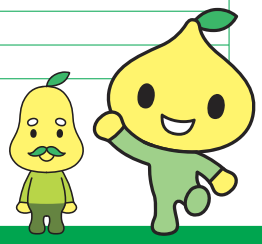
「ICMIF 5-5-5 マイクロ保険開発戦略」は、
新興5ヵ国(コロンビア、インド、ケニア、フィリピン、スリランカ)において、
それぞれ5年間の取組期間の中で低所得者層500万世帯への相互扶助型マイクロ保険の普及を
目指す活動です。当会は、ICMIF(国際協同組合保険連合)の理事・会員団体として、
同戦略プロジェクトの立ち上げ当初より議論に参画し、活動資金の援助を行っています。
ICMIFの各会員組織のさまざまな支援により、これまでに新興国の低所得者層約202万世帯・
約1,010万人(2020年5月末時点)に相互扶助保険や保障に関する教育・啓発活動が広がっています。

3.社会福祉団体への支援

25団体

1981年より「障がい者」「高齢者」「災害対策」を対象とした支援活動を行っている
社会福祉法人などの団体を継続して支援しています。
2019年度も外部有識者等による審査委員会にて下表の25団体を選定し助成金を交付しました。

No.	団体名	事業名
01	学校法人 日本社会事業大学	成年後見制度利用促進に向けた方策・啓発事業
02	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会	介護過程の展開学習用映像教材作成に関する調査研究事業
03	一般社団法人 日本福祉用具供給協会	歩行を支援する福祉用具活用の手引き 作成事業
04	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会	福祉用具専門相談員向けの住環境の整備に必要な「住宅改修専門用語ハンディ辞典」の制作及び質の向上に関する事業
05	公益社団法人 虹の会	首都圏近隣メディカルキャラバン事業
06	一般財団法人 長寿社会開発センター	アセットベースドアプローチによるリエイブルメントと社会参加がもたらす介護予防効果に関する調査研究事業
07	一般社団法人 シルバーサービス振興会	介護技能実習制度における適正な技能移転のための現場OJTの支援方策に関する調査研究事業
08	一般社団法人 日本介護支援専門員協会	介護保険制度の適正な利用を促進するための研修事業「二十歳の介護保険。理念と仕組みを適正に理解し、効果的な活用を促進するための市民公開講座」
09	特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構	介護サービス利用者権利擁護ボランティア研修DVD作成事業
10	公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会	地域共生社会開発プログラム推進事業
11	一般財団法人 全日本ろうあ連盟	ろう者等の防災・支援体制 検討・啓発事業
12	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会	障害者権利条約を踏まえた障害者分野における環境整備等に関する研修事業
13	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	視覚障害者のスポーツ・文化芸術活動の推進検討事業
14	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	第15回世界盲人連合アジア太平洋地域協議会(WBUAP)マッサージセミナー主催事業
15	社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会	視覚障害福祉サービス事業等に関する最新情報発信事業
16	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツの普及拡大事業
17	特定非営利活動法人 日本障害者フライングディスク連盟	アセアン諸国向 障害者フライングディスク競技普及事業
18	社会福祉法人 日本介助犬協会	動物介在療法・動物介在活動の実施、およびその活動に適した犬の導入
19	社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター	要約筆記者指導者養成研修(修了者)実態調査
20	特定非営利活動法人 日本セルプセンター	障害者就労支援事業所における縫製技術と生産・品質管理の習得事業
21	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	JR中央線(東京～高尾)・総武線(三鷹～西船橋)の各駅の乗換え等を視覚障害者(点字版作成)へ情報提供事業
22	公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本	SON広報事業
23	特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会	聴覚障害者の情報保障のあり方に関する意識調査・研究事業
24	公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会	2020年度シンポジウム事業
25	公益財団法人 日本チャリティ協会	2020パラアート・レガシー・プロジェクト



Report 6

たすけあいの輪をむすぶさまざまな取り組み

79団体 19,657,530円

4.地域貢献助成

1992年にスタートし、28回目となる2019年度は「人と人がささえあい、
安心して暮らせる未来へ」をテーマとして、「防災・減災活動」「環境保全活動」
「子どもの健全育成活動」に携わるNPO法人や市民団体などを対象に募集し、
79団体に総額19,657,530円を助成しました。
また、助成団体の活動報告・意見交換会等を開催し、たすけあいの輪をむすぶ活動を行いました。

◆地域貢献助成団体一覧

防災・減災活動

No.	都道府県	団体名
01	青森県	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと
02	宮城県	東北大学災害伝承プロジェクト もしとさ
03	茨城県	茨城県地域活動連絡協議会
04	茨城県	NPO法人 子どものための救命教室
05	東京都	特定非営利活動法人 防災・災害ボランティア かわせみ
06	東京都	板橋福祉のまちをつくろう会
07	東京都	立川市災害ボランティアネット（略称：立災ボ）
08	大阪府	ママコミュ！ドットコム
09	島根県	出雲市総合ボランティアセンター運営委員会
10	鳥取県	東中校区心豊かな子どもを育てる会
11	岡山県	Search&Rescue　Dog Kibi.auf
12	山口県	空みずきの会
13	福岡県	NPO法人好きっちゃ北九州
14	福岡県	被災地を写真でつなぐ実行委員会

出雲市総合ボランティアセンター運営委員会（島根県）



地域の防災・減災リーダーの育成講習会の様子

環境保全活動

No.	都道府県	団体名
01	北海道	間伐ボランティア 札幌ウッディーズ
02	宮城県	権現森自然研究会
03	山形県	やまがた福わたし（フードバンク山形中央）
04	神奈川県	海をつくる会
05	長野県	田毎の月棚田保存同好会
06	静岡県	遊水匠の会
07	静岡県	∞みらいのたね∞焼津
08	石川県	リクル
09	滋賀県	びわ湖エコアイディア倶楽部
10	奈良県	NPO法人グリーンスポーツ奈良
11	奈良県	特定非営利活動法人 Operation Smile
12	奈良県	環境市民ネットワーク天理
13	兵庫県	よこおみち森もりの会
14	島根県	くにびきエコクラブ
15	熊本県	エコ村伝承館

くにびきエコクラブ（島根県）



プラスチックごみ問題や温暖化問題などを
テーマにした演劇の様子

子どもの健全育成活動

No.	都道府県	団体名
01	北海道	サロベツでのびのび育てるママの会
02	北海道	こども食堂北海道ネットワーク
03	青森県	一般社団法人 Hachinohe　Club
04	岩手県	CAP岩手
05	宮城県	あじ島冒険楽校
06	栃木県	たんぽぽの会
07	栃木県	一般社団法人子ども食堂ノエル
08	群馬県	まなビバ！シリウス
09	群馬県	子育てネットワークゆるいく
10	群馬県	特定非営利活動法人 思いをつなぐ会
11	千葉県	スマイル♡こども食堂浦安
12	千葉県	特定非営利活動法人 世界のともだち
13	千葉県	不登校問題を考える東葛の会『ひだまり』
14	東京都	特定非営利活動法人 東京里山開拓団
15	東京都	学習支援ボランティア 桜んぼ塾
16	東京都	ほんむら子どもプロジェクト
17	東京都	特定非営利活動法人 ファミリーステーション・SACHI
18	東京都	林試の森ぼうけんクラブ
19	神奈川県	#つながる朝顔プロジェクト
20	神奈川県	きこえないママ×まちプロジェクト
21	長野県	特定非営利活動法人 もりの学校
22	長野県	特定非営利活動法人 長野県PS・ふくしネットセンター やさしなの
23	静岡県	KURURA制作実行委員会
24	愛知県	マタニティ研究会
25	愛知県	ナーベルプラ座
26	愛知県	小幡緑地冒険遊び場の会
27	滋賀県	一般社団法人 スマイルプロジェクト
28	奈良県	なんとカンファレンス実行委員会
29	京都府	藤の木子どもキッチン実行委員会
30	京都府	乙訓不登校を考える親の会『大地』
31	京都府	ふくちやまCAP
32	京都府	給食人サークル
33	京都府	アガペー
34	京都府	BLC
35	大阪府	こども夢くらぶ
36	大阪府	社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会 シャロン千里こども館
37	大阪府	池田こども食堂さくら
38	大阪府	障害児・病弱児理解啓発チーム オレンジキッズ
39	和歌山県	特定非営利活動法人子どもの生活支援ネットワークこ・はうす
40	兵庫県	ひょうご多胎ネット
41	岡山県	特定非営利活動法人 志塾フリースクール岡山
42	香川県	415のわ
43	高知県	高知あいあいネット・フードバンク高知
44	福岡県	特定非営利活動法人 カラフル・パレット
45	福岡県	いいづか人材育成グループ『ユリシス』
46	熊本県	木山仮設団地少年少女合唱団 スマイルナンバーワン
47	熊本県	菊池市「域学連携」地域づくり実行委員会
48	大分県	特定非営利活動法人クラウンボランティア・ティアドロップ
49	大分県	一緒に歩こう会 居場所サロン わかばハウス
50	宮崎県	G音楽たい

一般社団法人 Hachinohe Club（青森県）

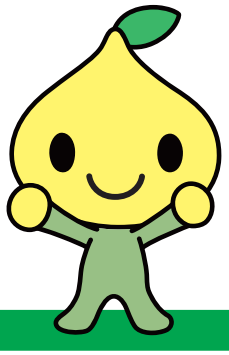


アダプティブスポーツ（障がいを持つ人がスポーツを楽しむために、ルールや用具を工夫した活動）の様子

特定非営利活動法人 東京里山開拓団（東京都）



児童養護施設との里山開拓の様子



みんなでたすけあい、
豊かで安心できる社会づくりへ

当会は、創立以来、組合員や協力団体をはじめとする多くの仲間とともに、
共済の普及と社会課題の解決に取り組み、
「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめてきました。
これは「誰一人取り残さない」社会づくりを目指す、SDGsに通じるものです。

New-Zetwork（2018年度～2021年度中期経営政策）では、
SDGsの「誰一人取り残さない」社会づくりに向け、持続可能な社会づくり、
セーフティーネットづくりに取り組むことを掲げ、取り組みをすすめています。

格差の拡大や大規模自然災害の増加、新型コロナウイルスによる感染拡大など、
取り巻く環境が厳しさと難しさを増すなか、
たすけあいの輪をむすぶ私たちの役割と期待をあらためて認識し、
これからもSDGsのゴールに向けて取り組みをすすめます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。
持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022784

発行
こくみん共済 coop（全国労働者共済生活協同組合連合会）
https://www.zenrosai.coop/
〒151-8571
東京都渋谷区代々木2-12-10 ブランド戦略部

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

【2020年7月発行】
90c20Z106.20.07.16,000 HAKU